

マヒワ（アトリ科） 全長 12 センチ

冬鳥として、全国に飛来します。

群れになり枝から枝へ移動する時は、鮮やかな黄色が目立ちます。4 月に入ってもまだ北に帰らず、とどまっているグループもありました。

神宮寺の中川原公園では、同じ冬鳥のカシラダカやアトリも見られることから、まだ繁殖地に向う時期ではないようだ。スズメよりも小さいが、100 羽もの群れで羽ばたくと鮮やかな黄色が目立ちます。



黄色が目立つので、遠くからでも判別されます。

杉林の中に隠れるように入っていくので、じっくりと鑑賞する機会が少なかった。

しかし今回は杉の枝先に次々と群がり、何かを啄んでいるようである。ガイドブックではカバノキやスギの種子をよく食べると言われることから、やはり杉の種に集まってきたのでしょうか。マヒワの群れは、杉の実が他よりもやや茶褐色を帯びた場所に集まっているようだ。



左がメス、右がオス。



カワラヒワよりも黄色が多い。

まもなく花粉の季節となることから、花粉症に敏感な人にとってはささやかながら貢献しているのではないか、と思ったりしています。



スギの種と合わせて花粉も食べているようだ。



じっと留まっていることが無かったが、やっとファインダーに収まってくれた。